

科目 妊産婦の援助論	授業担当者 中川 郁子	所属 中通高等看護学院	
開講時期: 中期～後期	単位数: 1単位	時間数: 30 時間	
<b>授業の目的</b> 妊産婦・分娩期の身体的・心理・社会的変化、胎児の成長について理解する。また、新しい家族の誕生期にある人々が健康生活を営むための看護実践に必要な基礎的知識と技術について理解する。			
<b>授業の概要</b> 周産期にある女性の身体的・精神的・社会的側面を理解すると共に、各期が正常に経過するために必要な援助、よりよい出産体験への援助の重要性、妊娠各期の対象のセルフケア能力を高めるための援助方法について学習する。また、ハイリスク状態にある人々を理解し、その看護について学習する。 技術演習を通して、妊産婦の看護を実践するために必要な技術の実際を学ぶことで、根拠に基づいた援助技術を身につける。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> 教科書等を予め確認し、授業内容に関してイメージできていることが望ましい。提示された事前課題について学習し授業に臨むこと。必要時資料は印刷し、準備すること。			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1	リプロダクティブヘルスケア	講義	
2	妊娠期の身体的特性	講義	
3	妊娠と胎児のアセスメント、出産を控えた妊婦と家族の心理と看護	講義	
4	妊婦健康診査時の看護技術	講義	
5	妊娠と不快症状、妊婦の日常生活とセルフケア	講義	
6	親になるための準備教育	講義	
7	ハイリスク状態にある妊婦、胎児の看護	講義	
8	分娩の経過と胎児の健康状態 ～産婦と胎児のアセスメント～	講義	
9・10	分娩の経過と看護 ～産婦のニーズ、産婦と家族の心理～	講義	
11・12	ハイリスク状態にある産婦および胎児の看護	講義	
13	ペリネイタルロスを経験した産婦や家族の看護(レポート)	講義	
14・15	妊婦体験と妊婦健康診査の実際、産痛緩和、胎盤計測 (レポート)	演習	
	試験		
<b>テキスト</b> ナーシンググラフィカ 母性看護学(2):母性看護の実践 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 母性看護学(3):母性看護技術 メディカ出版			
<b>参考書・指定図書</b> 系統看護学講座 専門 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門 母性看護学各論 医学書院 病気がみえる vol.10 産科 第4版 メディックメディア			
<b>評価の方法</b> 筆記試験、課題レポートで総合的に評価する。			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります